

「棋士公益活動制度」を開始します

4月1日より、棋士自らが囲碁普及を行う事を目的とした「棋士公益活動制度」を開始いたします。なお昨年10月より、「幽玄杯」など一部の活動は試行してきました。概要は下記のとおりです。

記

1. 制度の目的

囲碁界の低迷の根源的な問題は、囲碁ファンの減少にあります。この減少傾向に歯止めをかけるには囲碁ファンを増やす地道な囲碁普及活動の継続が極めて重要であり、日本棋院にとって最も大切な公益活動の一つです。

今回、棋士全員が自ら囲碁普及を行い、囲碁ファンの維持拡大の先頭に立って活動頂くことが囲碁普及の最後の決め手になると判断し、「棋士公益活動制度」の導入を決定しました。

2. 棋士公益活動に該当活動（個別活動は主に64）

- (1) **棋道研鑽**： 研鑽棋戦（若手棋士に研鑽の場を提供する「幽玄杯」）
院生育成（院生研修検討会、院生ネット指導、内弟子育成支援 他）
 - (2) **囲碁普及**： 囲碁ファンを増やすための普及活動（支部派遣、学校指導派遣、入門教室）
既存ファンに対する棋院サービスの充実強化（本院指導碁、ネット指導碁 他）
棋院の普及活動を支える会員を増やす活動（新規会員、免状推薦 他）
 - (3) **公務協力**： 式典支援、ファンサービス、対局協力（立会、記録係）他
- * 棋戦関係： 公式戦タイトル、公式戦対局の多い棋士、国際棋戦での勝利

以上